

詰め甘く山川ら1、2年で再出発

▽女子3回戦
文京学院大女
(東京) 2
(2825
| 2618)
○都市大塩尻

女子 都市大塩尻8強ならず

3連続失点でジュース。それでもウイング小山菜央(2年)の頑張りで2度先行したが、最後は相手の連続サーブミスに屈した。

岡田隆安監督(66)は「力不足。究極のメンタルをつくれな」と駄目です。逃げ、迷いがあると勝てない」と振り返った。脚の不安を訴えていた佐藤優華(1年)から第1セット途中



で小林依舞莉(3年)にセッターをスイッチ。堀内玲楠、加藤菜々子の3年生ミドル陣も機能し始め、連日のフルセットかと思われたが、大事なところでタッチネットやダ

ブルコンタクトのミスも出た。5年連続の春高は16強止まり。だが、1、2年生5人が大舞台を経験。左膝、右足首に故障を抱えながら奮闘した山川は「アタックは通用した。もっと上を目指して引張っていきたい」と前を向いた。

△東京都市大塩尻・文京学院大女V8強入りならず肩を落とす東京都市大塩尻 堀内は強打を見せたが…

■この記事・写真等はスポーツニッポン新聞社の許諾を得て転載しています。
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。
学校法人 五島育英会